



「源氏物語」の女性達と私達

— 『源氏物語』に親しむ会』を終えて—

針谷順子 (『源氏物語』集い読みの会) 主宰)

この会は2015年(平成27年)5月8日に、藤岡市内で女性の生き生きした暮らしのための活動をしている「新婦人の会」の方達を中心にスタートしました。

その頃私は高崎や前橋で、中高年の女性達と「源氏物語」を読んでいたのですが、「螢」の巻で光源氏が物語について論ずるところに深く心を動かされたのです。これは光源氏が語る形をとりながら、作者自身がなぜ「源氏物語」を書くのかを語っていると思ったからです。

*「日本紀(にほんぎ)」などの歴史書は、ものの一面しか伝えていない。物語にこそ真実が語られている。物語は見聞きしたことを心に籠めておくことが出来ず、後世の人に伝えたくて書くのだ。仏の説くところは結局は一つだが、この物語の言わんとするところも一つなのだ。(「螢」)

このことから、紫式部が後世の人達に伝えたかったことは何か、物語の言葉を丁寧に読み取りながら、その思いを伝えていきたいと強く考えるようになりました。

今まで「源氏物語」を研究する学者達はほとんど男性でした。しかし日々の暮らしの中で様々な経験を積んだ女性達が読んでみると、全く新鮮な姿で物語の中の人物達が立ち上がってくるのでした。男女平等にはほど遠いけれど、それでもめげずに乗り越えてきた女性達の目で「源氏物語」を読む時、作者が千年の彼方から語ろうとしていることが現れてきて、今を生きる私達に



力を与えてくれるに違いないと思っていたのです。

始まってから6年目、33回が最終回になりました。「源氏物語」を読んだことがない人達が少しでも面白いと思ってもらえたらと考え、『源氏物語』の女性達』というテーマにしました。取り上げた女性は、23人になりました。最初は参加者12、3人ぐらいでしたが、次第に増えて30人ぐらいになりました。正直言って資料作りは大変でした！けれども、

「日々の忙しい暮らしの中、『源氏物語』に親しむ会』の一時(ひととき)は、なに事にも代えられぬ楽しい時間でした。」(感想より)

このように思う方達がいて、待っていてくださる方達がいて、『源氏物語』に親しむ会』は、最終回「浮舟の死と再生」までたどり着くことができたのです。ありがとうございました。

***アンコールに応じて「アンコール源氏に親しむ会」を9月10日から始める予定です。**

<参加者の感想より>

★ はじめは、自分にはむつかしい受け入れがたいものだと思っていましたが、先生のお話がとても聴きやすく、大切な時間をもつことができました思いがします。うまく書き表せませんが、感謝致します。

★ 古典にあこがれをもつのですが、原文を理解できず、苦手意識をもっています。先生のお話しがとてもエネルギーで興味深く、話しにすいこまれていきます。ずっと「源氏物語」を読むことにあこがれていたもので、とてもリッチな気持ちです。「源氏」のおもしろさを伝えて頂きありがとうございました。

★ 古典の素晴らしさを初めて知りました。女性として古代に生きる女性の悲しさ、その中でも強く自己主張した女性達。素晴らしい講演、ありがとうございました。

★ 「源氏物語」という名高い物語にとりつくには、量もさることながら、余程のエネルギーが要るし、雲の上のことでした。針谷さんに生き生きと語っていただき、物語の景色と人々の営みを見ることができ、良かったなあと思います。いつの世も、身分や経済の格差の中で生き通すことはたいへんなのです。そんな中で生きる人々のいじらしさ、女性のあわれを感じました。ありがとうございました。

★ 6年の間で、男女共同参画、ジェンダーフリー、女性の声が大きくなってきて動きが見えてきたこの時に「源氏物語」が聞けたことがよかったですと思います。私が考えることも変化していると思います。今日の浮舟のところ、とてもよかったです。考える女になっていく、意思表示する勇気によりそいたいと思います。

★ 途中から勉強会に入れていただき感謝しています。「浮舟の物語」心にしみる、感動した。物いわぬ抱かれる女から自分の意志を持つ女性へと成長自立していく姿に心動かされました。

★ 6年間、まだ2～3年前だったように感じます。平安時代の皇族貴族の世界で生きる男の人、女の人、人の心、今の時代とも変わらない心、先生のお話、熱のあるお話、楽しく興味深くお聞きしました。知る・学ぶことは素敵です。(後略)

★ 今まで「源氏物語」をきちんと読んだ事はなかったが、先生のお話しをうかがってから深い人の心が描かれているのに驚き、大変興味を持ちました。現代の小説にもまさる複雑さに面白く思います。本を読んだのでは味わえない先生のお話しの面白さにひかれたのだと思います。宇治十帖に入ってから、特に「源氏物語」の深さ、悲しさにひかれました。

